

(1)

字の活用の仕方」という冊子がありました。冊子の奥書が、この本は、昭和五十四年一月二十六日「岩手県青少年赤十字事例発表研究会」の講演を収録されたものです。」講師は、当時、青少年赤十字全国指導者協議会長で福島第一小学校長の古関富男先生です。青少年赤十字「初任者」の私はさつそく勉強！と思

四月 本校において福島地区の青少年赤十字指導者協議会の研修会が行われました。当日、日赤福島県支部から青少年赤十字指導講師として土屋悦男先生をお招きして、ご指導をいただきました。その際、土屋先生がお持ちになつた資料の一つに「青少年赤十

い、表紙をめくりました。すると冊子の中に、古関先生が勤務されている福島第一小学校の取り組みが次々に紹介されているではありませんか。しかもその一つ一つが、今もなお本校で継続されているも



▲朝の会

ひとりひとりの心を大切にしなければならない」と頭で分かっていても、行動に移すことは簡単ではあります。その理由は四つです。

一つ。「自分さえよければいい」（利己心）例えば、ランコに乗るためにたくさん的人が順番待ちをしています。そこに、早く乗りたくて列の途中に割り込む。

二つ。「他人はどうでもいい」（無関心）例えば、テストが早く終わってしまいまして。まわりはまだ終わらない中、時間をもてあまして一人でうるさくする。

三つ。「事実をよく知ろう

た。おいて次のような話をしまし
十字の根本精神である「人道」の敵についてふれられて
います。この敵こそ、私自身
が抱える人間としての弱さそ
のもの。私は自分に言い聞か
せるつもりで、全校朝の会に

としない」（認識不足）例えば、雨上がりに傘を持ち帰ります。腕を振つて歩けば、傘の先端で後ろの人のおなかを突いてしまいます。

四つ。「人の痛みが分からぬ」（想像力の不足）例えば、校庭で仲間とサッカーに夢中です。鉄棒脇でボールを転がす人が一人。声がかからず、姿が消えました。

がかわるうが、何があろうが、脈々と続けるということが一つの着眼である」と指摘されています。まさに、これは教育の『不易』です。続けて、「青少年赤十字は、何をすれば良いと決まっているものでもありません。創意工夫をこらし、(略) 努力を忘れてはならないと思います。」と、「流行」の指摘もお忘れではありません。

平成二十六年度青少年赤十字 福島県指導者協議会総会開催

昭重様（代理義務教育課菊地篤志様）、福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長藤田伸朔様のご来賓と県内各地区、並びに高校の県と各地区の会長が出席なされて指導者協議会が総会が行われました。

会議では前年度の事業・会計決算報告、活動の反省、今年度の努力目標、事業計画が審議され、すべて承認されました。

前年度の反省・課題として教職員の青少年赤十字に対する

る意識・認識の差がみられ、それが研修不足などに表れているようです。反面、「青少年

と「赤十字活動」が特別なこととらえず学校教育活動と大いに関わりがあることをもっとPRしてゆきたいと言う声もありました。学校の統廃合問題により学校経営と JRC 活動に位置づけの課題も出てくることも考えられる指摘や教職員の多忙や小規模校では出張がしにくい、研修の参加者の確保が難しくなっているなどが出て各地区での工夫がうかがえるものになっています。

● 青少年赤十字福島県指導者
字連絡協議会秋季総会

期日 10 月 31 日(金)
場所 田村市立緑小学校
田村市立移中学校

● 青少年赤十字指導者研修会
並びに学校公開

期日 11 月 6 日(木)～7 日(金)
場所 郡山市盤梯熱海温泉
清陵山俱楽部



▲校長会

次いで役員の改選が行われ、斎藤吉成会長が選出されたのを始め左記の役員の方々が選出されました。

平成26年度 青少年赤十字 福島県指導者協議会役員名簿

役職名	氏名	学校名
会長	齋藤 吉成	福島市立福島第一小学校
副会長	神永 瞳子	白河市立表郷小学校
副会長	林 弘美	南相馬立太田小学校
副会長	太田 孝	福島県立本宮高等学校
監事	黒澤 俊廣	郡山市立宮城小学校
監事	菊地 康則	猪苗代町立猪苗代小学校
監事	山森 元昭	松韻学園福島高等学校

● 協議会第二回会長会
期日 11 月 13 日(木)
場所 日赤県支部

● 青少年赤十字作品募集優秀
研究会

期日 12 月中旬(予定)
場所 日赤県支部または福島県青少年会館

● 青少年赤十字スタディーセンター
期日 3 月 22 日(日)～27 日(金)
場所 神奈川県葉山町湘南国際村センター

● 青少年赤十字シンポジウム
期日 3 月 22 日(日)～27 日(金)
場所 山梨県山中湖村東証照館

五班 松本 光司
(いわき市立好間第一小学校)
六班 飯間香保子
(赤十字奉仕団指導講師)
七班 古川 盛也
(前青少年赤十字指導講師)
八班 石田 享子
(磐城第一高等学校)

平成二十六年度 主な行事予定

平成二十六年度後半の 主な行事予定

今年度の講習会は 8 月 18 日(月)～20 日(水)の「一泊三日、左記の日程で国立磐梯青少年交流の家で開催されました。

今年度は小学校から三十三名、中学校から十二名、高校から六名、計五十一名での開催となりました。一校で複数の参加が二校あり、各地区で指導的な先生方の参加の講習会でした。初めて参加の先生方がほとんどで青少年赤十字の特徴あるプログラムが組まれた講習会になっています。

今年度の努力目標は昨年度に引き続き、加盟の推進、活動の推進充実、情報交換推進、指導者の育成、関係機関との連携が挙げられました。

平成二十六年度 青少年赤十字指導者講習会

ス」「ワークショップ」など の話がありました。ホームルームではその実践へと進んでゆき、青少年赤十字の行動目標の「気づき」、「考え」、そして「実行する」を先生方も体感、体験していきました。

主な内容と講師 (敬称略)
○各班のホームルーム担当
一班 川村 卓也
(福島市立福島第二小学校)
二班 和田 有司
(伊達市立伊達東小学校)
三班 酒井 紹雄
(赤十字奉仕団指導講師)
四班 箱崎 仁
(いわき市立大野小学校)

○演技演習
・「子どもの居場所とレクリエーション」
石田 享子
県レクリエーション協会 渡部よう子
・「救急法短期講習」
日本赤十字社救急法指導員 酒井 紹雄・古川 盛也
石田 享子・金子久仁子
○講話
「ワークショップ」について
松本 光司

○講話
「青少年赤十字と学校教育」
県中教育事務所指導主事 宗形 潤子

○講話
「青少年赤十字と学校教育」
県中教育事務所指導主事 宗形 潤子



○ フィールドワーク	【青少年赤十字賛助奉仕団】
藤田 伸朔・酒井 紹雄・	飯間香保子・古川 盛也
【指導スタッフ】	和田 有司・川村 卓也・
箱崎 仁・田村 享子	
石田 政幸・日色沙織里	
○ 事例発表(研究推進校より)	
いわき市立草野小学校	
田村市立移中学校	込山久美子
いわき市立草野中学校	
深谷 恭子・長谷川伸子	
田村市立緑小学校	今野千鶴子
田村市立移中学校	五十嵐堅一
○ 演習ワークショップ	
「JRC活動をどのように	
学校教育に生かすか」	
(各HR担当)	

8月18日から20日 日程表

	8月18日(月)	8月19日(火)	8月20日(水)
6:15			起床 VS活動
7:00		朝の集い	朝の集い
7:20		朝食	朝食
9:00		先見	先見
9:30	受付	実技講習	実践報告
10:00	開会式・オリエンテーション	救急法短期講習	「研究推進校として」
10:30			
11:00	講義 「福島の今と青少年赤十字」	講話 「学校教育と青少年赤十字」	ワークショップ 「JRC活動をどのように 学校教育に生かすか」
12:00	昼食	昼食	昼食
13:00	演習 「JRC活動って? Actionを起すために」		まとめ(ワークショップ発表)
14:00	実技研修 「子どもの居場所とレクリエーション」		閉会式
15:00	講話 「ワークショップについて」	実技 「フィールドワーク」	
16:00	ホームルーム	フィールドワーク講評	
17:00	夕べのつどい	夕べのつどい	
18:00	夕食	夕食	
19:00	ホームルーム	ホームルーム	
20:00		振り返り	
21:00	交流会	自由活動時間 ワークショップに向けて等	
22:00	班長会議	班長会議	
23:00	消灯・就寝	入浴	入浴



指導者講習会から
得たこと

いわき市立草野小学校
板倉 恵一

まず目についた講習会の方針は「自分にチャレンジする生活」。自分は積極性やりー

ダーティー性が特にある方ではないのですが、資料にあつた「心、行動、習慣、性格、人生が変わること」という言葉に触発され、この三日間、せっかくだからチャレンジして自分を高めてやろうと、開講式で考えました。自分から大勢の前で発言したり、班のリーダーになつたり(これは年齢のせ

指導者講習会に参加して

い?」。およそ普段とはちがう姿をこの講習会で出せた自分に、少し自信が芽生えたりもしました。

時計や掲示板を見て、考

えて、自分で動く「指示のない生活」「注意深い生活」。普段の研修とあまりにも違つていて、最初は戸惑いましたが、次第に心地よくなりました。

他の先生方の気付きに感心したり、多少なりとも気付けた自分に喜んだり。

「他のために自分を生かす」。これは、V.S.活動や班活動で特に意識するようにしました。人の役に立つことは自分の喜びにつながると、改めて感じることができました。以前、先輩の先生が言っていた言葉も思い出しました。「能力は人のために使うもんだ。自分のためにしか使おうとしない者は犯罪者になつてしまふ」

「自分の考え方を持つ生活」。これには先見の時間とワークショップが大いに役立ちました。特にワークショップの「JRC活動をどのように学校教育に生かすか」では、自分の課題を明らかにし、具体的な取り組みをまとめねばなりませんでした。空いている

時間に班のみんなで頭を悩ませ、大変忙しかつたのです。だからこそ、様々なプログラムに真剣に取り組んだとが言えると思います。

講習会での一番の収穫は、

すばらしい仲間との出会いでした。それは、思わぬ減点もあつたフィールドワークでの体験が大きかったと思いま

す。活動後、仲間が「ちらつ

と思ったことは実践すべきだった」と言つていました

が、まさに「気づき」「考え」「実行する」が試される場面がありました。やつた方がいいかなと思うことは、やつたほうがいいんだと、今は思え

ます。

す。活動を明確にするためにV.S.カードに記入し、本当にneedがあるか確認し、実行することもあります。

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で 学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

小関 沙織

指導者講習会で

学んだこと

下郷町立旭田小学校

▶トレッキング



して、参
タッフと
ティアス
ボラン
会人)が
学生・社
員)が
元高校J
RCメン
バー六人、

日本赤十字社福島県支部では東日本大震災復興支援事業「赤十字すまいるキャンプ」を八月五日から七日の二泊三日で実施しました。原発事故の影響により移転し、これまでと別な場所での学校生活を送っていました。元の場所に戻ったが、厳しい教育環境に学五年生から中学二年生までの二十九人が参加しました。

高校JRCメンバー六人、

小中学生とスタッフJRCメンバー、元メンバーは閉会式でい出深い「赤十字すまいるキャンプ」になりました。

加者の体調管理や安全管理に気をつけながら二泊三日で活動しました。参考

参加者とともに活動しました。参考

▲集合写真

「赤十字すまいるキャンプ」が開催される

が必要だということです。学級で、自主性をいつも子どもたちに求めてしまいますが、今回自分で体験してみて、「気づく」ことは、簡単でなく、また、自己満足の世界に陥ってしまうこともあると感じました。そんなときに大切な

は、自分に意見をくれる仲間の存在です。気づきにくいことを気づかせてくれる仲間、多面的に考えさせてくれる仲間がいて、はじめて自主性が育つ環境が整うと感じました。ここで学んだことを、今後の指導に生かしていきたいです。

○2泊3日のプログラム

1日目

	開会式	救急法練習 を学ぶ	パークゴルフ	入浴 就寝
--	-----	--------------	--------	----------

2日目

デコ平 トレッキング	バーベキュー	カナディアン カヌー	キャンドル作り キャンドルナイト	入浴 就寝
---------------	--------	---------------	---------------------	----------

3日目

記念品作成 (フォトスタンド)	閉会式	
--------------------	-----	--



24年度 各地区トレセン、指導者研修会・講習会 開催状況

トレーニングセンター	地区	月 日	会 場	参加人数 概数	主な内容
					小・中
	福島・伊達・安達	7月30日(水)、31日(木)	福島一小	60	レクリエーション、救急法、フィールドワーク、テント設営
	郡山	8月1日(金)	サンサン・グリーン湖南	71	講話、GW、ネイチャーゲーム、長野県JRCとのTV交流
	西白河	8月20日(水)	表郷小	40	救急法、炊き出し
	会津若松・北会津	8月1日(金)	国立磐梯青少年交流の家	55	講義、救命救急法、フィールドワーク
	耶麻	7月31日(木)	山都小	69	防災講演、防災時の救急法、非常炊き出し
	西沼	8月1日(金)	福島県会津自然の家	118	講話、救急法、UFOゴルフ
	いわき	8月21日(木)	いわき好間第一小学校	22	講話、救急法、レクリエーション、FW
高校	県高校	7月11日(金)~13日(日)	国立磐梯青少年交流の家	70	講義、救急法、国際交流、WS、FW、GW
	県北	8月4日(月)、5日(火)	支部	50	講義、炊き出し、国際理解、福祉レク、WS
	県南	8月8日(金)、9日(土)	支部	36	講義、救急法、炊き出し、FW、GW
	会津	7月28日(月)	喜多方プラザ	27	講義、KJ法による研修
	いわき	8月6日(水)	四倉高校	46	手話講座、講話、災害時高齢者生活支援講習、シニア体験

指導者研修会・講習会	地区	月 日	会 場	参加人数 概数	主な内容
					小・中
	福島・伊達・安達	7月30日(水)	福島一小	17	講義、救急法
	岩瀬	5月7日(水)	文化の森てんえい	40	講話
	石川	6月9日(月)	中谷第二小	27	講義、非常炊き出し、災害時の救急法
	田村	6月11日(水)	船引公民館	42	救急法
	西白河	6月25日(水)	白河一小	40	講義、救急法
	東白川	6月16日(月)	下関河内小	24	講話、アレルギーへの対応
	会津若松・北会津	8月1日(金)	国立磐梯青少年交流の家	25	講義、救急法
	耶麻	7月31日(木)	山都小	32	防災講演、防災時の救急法、非常炊き出し
	西沼	8月1日(金)	福島県会津自然の家	31	講義、救急法
	いわき	8月21日(木)	いわき好間第一小学校	9	講義、救急法
	相馬	5月29日(木)	南相馬市鹿島ふれあいセンター	46	講演

青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」の具体的な事業として県内の青少年赤十字メンバーを海外の赤十字加盟国へ派遣し、同国との交流研修を通して、国際性豊かな青少年を育成し、県青少年赤十字活動のより一層の推進をはかる目的に実施されました。

例年実施されていましたが東日本大震災に伴い二年間見送られた経緯があります。今年度は復興支援事業の一つとして青少年赤十字加盟校と原発事故により移転を余儀なくされた浜通りの八高校に参加の希望者を募りました。東日本大震災による地震・津波に加え福島県では福島第一原子力発電所の事故による被害、その後遺症にまだあえぎながらも復興を進めている状況にあります。この事実を伝えるとともに支援を受けたことに対する感謝も伝え交流をはかけました。

● 目 程

月 日	内 容
8月10日(日)	移動日
8月11日(月)	フィリピン赤十字本社訪問、ラカン・デュラ公立高校交流
8月12日(火)	ケソン市支部訪問、バタサン・ヒルズ公立高校交流、パヤタス地区訪問(リカセンター・家庭訪問)
8月13日(水)	オロンガボ市支部訪問、オロガボ市コミュニティーセンター訪問、オロンガボ公立高校交流、バタアン州支部訪問
8月14日(木)	バランガ公設市場見学、第2次世界大戦跡地見学(サマット山、死の行進スタート地(0地点)、フレンドシップタワー)、バタアン原発見学
8月15日(金)	プラスチックリサイクル工場見学、ココヤシリサイクル施設見学、ウォーターリリーアイクル施設見学、一般家庭生ゴミリサイクル施設見学、モールオブアジア見学
8月16日(土)	移動日

私たちちは、第六回青少年赤十字国際交流事業「フィリピン派遣」のメンバーとして、平成二十六年八月十日から十六日までの一週間、フィリピンを訪問しました。県内のJRCメンバーエイト名と引率教員二名、日本赤十字社福島県支部から職員二名、合計十二名での今回の訪問は、大変有意義なものとなり、多くのことを自分の心で感じ、学ぶ貴重な機会となりました。

フィリピンでは、フィリピン赤十字の本社をはじめ、たくさんの中の支部を訪問させてい

佐々木珠惠

平成二十六年度
第六回青少年赤十字国際交流事業
「フィリピン派遣」に参加して

スメンバーと一緒に多くの時間を共にし、バスの中や食事会でお互いに交流を重ねることがで行き、最後は本当に別れがたい様子でした。このように、この派遣事業の目的である、青少年赤十字の実践目標の一つ「国際理解・親善」を具体的に実践し、さらに「東日本大震災時の支援に対する謝意と福島の現状を伝える」という任務も、何とか果たすことができたのではないかと思います。

また、ごみ山があるパヤタス地区の訪問やラス・ピニヤ



スのリサイクル施設の訪問を通して、貧困問題や環境問題、雇用の問題について、またバターン原発の見学を通しては、まさに福島、いや日本が抱えている原発の問題について考えさせられました。「百聞は一見にしかず」とよく言いますが、現地を訪れ自分の心で感じ学んだものに勝るものはない、私自身心から感じました。

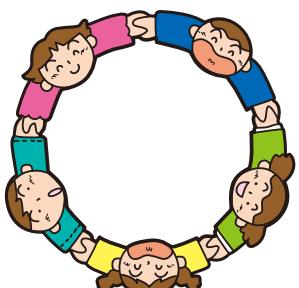
の心で感じとつたものを今後
のJRC活動に活かし、その
心を大きく育てていってく
ることを願っています。最後
に、非力な団長を補うのに余
りました。

皆さんにはフィリピンについ
てどんなことを知っています
か。私のフィリピンの知識は
この事業に参加するまでわざ
かなものでした。もちろん
ニュースでの台風被害の報道
や、教科書にのっているよう
な情報は知っていました。し
かし実際にフィリピンについ
て調べてみるとその歴史が複
雑なことや、格差社会である
ことがわかりました。そして
フィリピンを訪れてみると文
字からだけではわからない發
見が毎日のようにありました。
た。この七日間は忙しくはあ
りましたがとても充実してい
ました。

私たちはフィリピン赤十字
本社を訪問、見学しました。
活動の説明で台風の多いフィ

わかりました。また、台風によつて被害を受けた島々ではなつてしまつています。そのような人々は職や食べ物を求めて首都圏に移住してきますが、結局住むところもななく、フィリピンの貧困層とも言える生活しなければならぬ現状があります。マニラ市内を移動中、実際にありあわせの材料で作った家に住む人々の様子を見て、このように困窮している人々に援助をして何か出来ることがないかと思いました。

フィリピン派遣の全体を通して私が驚いたことは、フィリピンの子どもたちの笑顔の多さでした。ゴミ山問題を抱えるパヤタスの子ども達も、訪れた学校の子ども達もたくさん笑っていました。そこで強く印象に残ったのは私たちのバスが停まっているときに手を差し出してきた男の子の事です。彼は少しも笑わずに私たちに食べ物かお金を求めました。しかし私たちはそのとき食べ物をだれも持っていないからため、何も出来ませんでした。彼のような小さな子ども達がみんな笑うこと出来るような世界を創つていける活動をしていきたいと思います。



今年度も多くの学校・団体が赤十字救急法を受講

青少年赤十字の実践目標の一つであります「健康・安全」を実践しようと各地区で T C などを利用して救急法を受講した学校・団体です。

平成26年度赤十字救急法受講状況

日時	学校・団体	受講者	人数	日時	学校・団体	受講者	人数				
基礎講習											
8月8日	高等学校県南地区連絡協議会(県南TC)	JRCメンバー	30	7月7日	福島市立平田小学校	保護者・教職員	14				
8月18日	高等学校県北地区連絡協議会	JRCメンバー	16	7月8日	猪苗代町立緑小学校	児童・保護者・教職員	57				
8月25日	福島県磐城第一高等学校	JRCメンバー	31	7月9日	会津若松市立日新小学校	保護者・教職員	19				
8月26日	東日本国際大学附属昌平高等学校	福祉コース第2学年	16	7月9日	二本松市立油井小学校	児童・保護者・教職員	71				
8月26日	福島県立須賀川高等学校	JRCメンバー	31	7月10日	郡山市立二瀬中学校	生徒	43				
養成講習											
8月19~20日	高等学校県北地区連絡協議会	JRCメンバー	16	7月10日	本宮市立五百川小学校	保護者・教職員	72				
8月26~27日	福島県磐城第一高等学校	JRCメンバー	31	7月11日	白河市立白河第一小学校	教職員	30				
8月27~28日	東日本国際大学附属昌平高等学校	福祉コース第2学年	16	7月12日	福島県高等学校JRC指導者協議会	JRCメンバー	12				
短期講習											
4月4日	福島県立橘高校	教職員	22	7月14日	白河市立小田川小学校	教職員	13				
6月4日	福島県立白河第二高校	生徒・教職員	85	7月16日	福島市立蓬莱小学校	児童・保護者・教職員	110				
6月6日	郡山市立朝日が丘小学校	教職員・保護者	57	7月16日	福島市立金谷川小学校	保護者・教職員	8				
6月9日	須賀川市立阿武隈小学校	教職員・保護者	34	7月18日	福島市立岳陽中学校	生徒・教職員	40				
6月9日	JRC石川地区指導者協議会	指導者協議会会員	30	7月18日	福島市立蓬莱小学校	教職員	18				
6月11日	JRC田村地区指導者協議会	指導者協議会会員	42	7月24日	福島県立須賀川養護学校	教職員	41				
6月14日	郡山市立東芳小学校	保護者・教職員	61	7月24日	田村市立竜根中学校	教職員	13				
6月18日	郡山市立高瀬小学校	児童・保護者・教職員	91	7月24日	白河市立白河第三小学校	保護者・教職員	39				
6月18日	白河市立大信中学校	教職員	11	7月25日	白河市立白河第二小学校	教職員	23				
6月20日	白河市立みさか小学校	保護者・教職員	24	7月30日	福島・伊達・安達地区JRC指導者協議会	JRCメンバー	36				
6月20日	会津若松市立一箕小学校	保護者・教職員	31	7月30日	福島・伊達・安達地区JRC指導者協議会	教職員	17				
6月24日	郡山市立永盛小学校	保護者・教職員	31	7月31日	耶麻地区IRC指導者協議会	JRCメンバー	104				
6月25日	JRC西白河地区指導者協議会	教職員	33	7月31日	福島市立蓬莱中学校	教職員	18				
6月25日	郡山市立薰小学校	教職員	20	8月1日	両沼地区IRC指導者協議会	JRCメンバー	117				
6月27日	白河市立白河第二小学校	児童・保護者・教職員	45	8月1日	会津若松・北会津地区JRC指導者協議会	教職員・JRCメンバー	76				
6月27日	白河市立白河第五小学校	児童・保護者・教職員	53	8月19日	指導者講習会	教職員	51				
7月1日	郡山市立桜小学校	保護者・教職員	35	8月20日	西白河地区JRC指導者協議会	保護者・教職員・児童	44				
7月1日	郡山市立守山小学校	保護者・教職員	31	8月21日	いわき地区指導者協議会	保護者・教職員・児童	31				
7月2日	いわき市立郷ヶ丘小学校	保護者・教職員	41	8月25日	いわき市立平第二中学校	教職員	29				
7月3日	郡山市立高倉小学校	保護者・教職員	30	9月6日	柳津町立西山中学校	生徒・教職員	48				
7月3日	白河市立五箇小学校	児童・保護者・教職員	39	水上安全講習会							
7月3日	郡山市立橋小学校	保護者・教職員	46	6月26日	中島村立吉子川小学校	保護者・教職員	47				
7月4日	郡山市立柴宮小学校	保護者・教職員	35	7月1日	二本松市立小浜小学校	教職員	20				
7月4日	郡山市立宮城小学校	保護者・教職員	61	7月9日	大玉村立大玉小・玉井小・玉井幼稚園・保育所	教職員	36				
7月4日	二本松市立渋川小学校	保護者・教職員	35	7月12日	大玉中学校・保育所	教職員	19				
7月4日	鏡石町立第二小学校	保護者・教職員	15	9月10日	いわき市立好間第一小学校(＊)	児童	129				
7月5日	田村市立瀬川小学校	保護者・教職員	29	9月11日	福島市立杉妻小学校(＊)	児童	118				
7月5日	田村市立要田小学校	児童・保護者・教職員	53	<small>(＊)は着衣での水上安全法です</small>							
7月5日	本宮市立白岩小学校	児童・保護者・教職員	80	健康生活支援講習							
7月5日	石川町立沢田小学校	児童・保護者・教職員	19	(養成講習)							
7月7日	小野町立飯豊小学校	保護者・教職員	34	4月2~4日	高等学校県北地区連絡協議会	JRCメンバー	16				
(災害時高齢者支援講習)											
8月6日	高等学校いわき地区連絡協議会	教職員・JRCメンバー	41								

あ
と
が
き



震災から三年が経ちリーダー交代も日帰りが一泊二日で充実し

た様に思います。これも指導してくださっている指導者協議会の先生方のおかげだと思っています。また、お忙しい中、原稿をお寄せいただき、ありがとうございます。また、お忙しい中、原稿をお寄せいただき、協力いただい

赤十字の豆知識…②

「赤十字のマーク」

普段なにげなく目にしている赤十字のマーク（標章といいます）には2つの意味があります。

1. 赤十字に関係ある人または物を表示するため。(表示の標章)
2. 戦争時あるいは紛争時に傷病者を保護する赤十字関係者、赤十字の施設ほか、軍の衛生部隊・施設等を安全に保護するため。(保護の標章)

このマークは、1949年のジュネーブ4条約より定められ、イスラム教の国々では赤い三日月（赤新月）のマークを使っています。

2005年12月5日の国際赤十字締約国会議において、新たに「レッドクリス



▲赤十字マーク



▲赤新月マーク



▲レッドクリスタルマーク